

市長行動記録(令和4年度)

(令和4年4月6日)一般社団法人「貞山運河ネット」様の設立総会が開催されました。今後、貞山運河を活用したイベント等で地域活性化が期待されます。



(令和4年4月7日)名取市は、東日本電信電話株式会社様と相互連携及び協働による地域社会のデジタル化を目指し、連携協定を締結しました。地域の課題解決や地域活力の創出が期待されます。また、今年度より企画部内に「DX推進室」を新設し、NTTより2名のデジタル専門人材を派遣いただいております。



(令和4年4月8日)市内の小学校で入学式が行われました。この日は、市内9校の小学校で入学式が行われ、校舎に元気な子供達の声が響きました。



(令和4年4月16日)仙台 89ers 様のゲームスポンサー試合が行われました。名取市は、仙台 89ers 様のスポンサーとなっており、その試合会場にて特設ブースを設置し、名取市の観光PRを実施しました。来場者プレゼントとしてサイクルスポーツセンター施設無料利用券を40組80名に贈呈しました。



(令和4年4月21日)かわまちてらす閑上の川向にアクアイグニス仙台様がオープンしました。名取川河口地域のシンボルとしてともに地域活性化による交流人口の拡大が期待されます。



(令和4年4月27日)令和4年度春の宮城県市長会議が登米市を会場に開催されました。各市の課題解決に向けて、14名の市長で議論し、県や国に要望してまいります。また、今回の会議において全国市長会理事、宮城県市長会副会長に選任されました。与えられた使命を全うできるよう精進致します。



(令和4年5月7日)ゆりあげ周遊船「ゆりあげ丸」の就航式が行われました。この「ゆりあげ丸」は、貞山運河と名取川を遊覧するコースも設けており、新たな景観を楽しみながら遊覧できます。また、「ゆりあげ丸」の整備にあたり宮城第一信用金庫様から企業版ふるさと納税として寄付をいただきご協力をいただきました。皆さんの温かい気持ちと笑顔を運んでまいります。



(令和4年5月10日)みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会総会が開催されました。名取トレイルセンターは多くのハイカーにご利用いただいております。八戸から相馬までの全線開通から間もなく3周年を迎えます。総距離約 1,000 キロの道のりを63人が全線踏破されました。皆さんもチャレンジしませんか。また名取トレイルセンターには キャンプ場がオープンしております。ぜひご利用ください。



(令和4年5月11日)「水道施設等災害時に関する協定」を水 ingAM株式会社様・名取市管工事業協同組合様・産電工業特定共同企業体様と締結しました。この協定は災害時における危機管理強化を目的とし、応急給水活動や復旧活動の支援をいただくもので、災害時における市民生活の速やかな復旧が期待されます。これからも災害に強い水道を目指してまいります。





(令和4年5月12日)新型コロナウイルス感染症拡大防止により書面での開催となっておりますが、第180回東北市長会議が2年ぶりに山形市で行われました。各県の市長会より政策課題について議論がなされました。また、東北77市の市長方との貴重な意見交換をさせていただきました。これからも各市と連携しながら素晴らしい街づくりに励んでまいります。



(令和4年5月13日) (一社)貞山運河ネット様、(株)プランニング・オフィス社様より、りらく令和4年1月号の貞山運河特集部分を別冊として作成した「貞山運河編」を贈呈いただきました。江戸時代に伊達政宗公が築いた貞山運河は名取市民の生活と深く関わってきました。この「貞山運河編」は市内小中学校などへ、約 9,000 冊を配布し、名取市と貞山運河の関わりを次世代の子どもたちへ引き継ぐよう有効活用してまいります。



(令和4年5月17日)株式会社アライバル様より「段ブロック」(段ボールのブロック)を贈呈いただきました。これは株式会社アライバル様が発行する寄付型私募債の発行を仙台銀行様が お引き受けし、その手数料の一部を今回名取市に寄贈いただくものです。「コロナ禍において子ども達の行動も制限されている中で、子ども達の成長に少しでも貢献したい」とのお気持ちが込められており、この「段ブロック」は市内3か所の公立保育所で役立たせていただきます。



(令和4年5月21日)ウクライナから単身自主避難されてきた エリザベータ コロトコヴァさんの講演会が名取市役所で開催されました。この講演により、大変厳しい状況下におかれているウクライナ情勢を知ることができ、改めて支援の必要性を認識しました。また、エリザベータさんからは、支援金に頼るのではなく仕事をして独立して暮らしたいという力強い想いを聞くことができました。そして避難者は女性や子連れ世帯が多く、自立支援として、仕事と子育て両面での支援や言語教育の機会提供など必要であると話されました。名取市はウクライナ避難者を受け入れ、国境を越えた支援をして参ります。



(令和4年5月24日)令和4年度名取市交通安全母の会定期総会が2年ぶりに開催されました。「交通安全母の会」は、交通安全を願う母親が力を結集して交通安全の輪を広げ、悲しい事故のない明るい豊かな社会の実現に寄与されている団体です。春と秋の交通安全週間での啓発はもちろんのこと、新入学児童にはオリジナル反射材や、交通安全のパフレットなどを配布していただき、交通ルールを守る大切さを教えていただいております。今後とも事故のない明るい社会になるようご協力をお願いします。



(令和4年5月26日)岩沼警察署で防災行政無線を活用した協定を締結しました。この協定は、凶悪犯が逃走するなど、市民の生命・身体に危害が及ぶ恐れがある場合に、名取市の防災行政無線を活用して迅速・正確に情報発信や注意喚起をするための協定です。この協定によりさらなる安全安心なまちづくりが進むことが期待されます。



(令和4年5月26日)宮城県が主催する「令和4年度宮城県市町村長会議」に出席しました。当日は宮城県知事と県内33の市町村長が一堂に会し、新型コロナウイルス感染症対策や地域経済対策など、県政や地方の行財政運営について、活発な意見交換が行われました。



(令和4年5月30日) 関上東地区産業用地で新たに株式会社 T-craft 様と企業立地協定を結びました。今回、第10回目となる関上東地区産業用地、立地公募へのご応募いただきました、株式会社 T-craft 様の事業所設置が決まり、名取市と企業立地協定を結びました。関上東地区産業用地は、水産業10社と合わせて38社となり、本産業エリアのみならず、当市における地域産業の活性化に大きく貢献いただけるものと期待しております。



(令和4年6月2日) 昨年11月に開催された、第32回全国水産加工品総合品質審査会において、マルヤ水産株式会社様が開発した「銀鮭の醤油煮缶詰」が最高賞である農林水産大臣賞を受賞され、山田市長へ報告に来られました。マルヤ水産様からは、これからも皆さんに喜ばれ、地域経済の活性化に貢献できる商品の開発に取り組むたいとお話がありました。



(令和4年6月2日)令和4年度区長研修会を名取市文化会館大ホールに於いて開催しました。当日は、区長業務の説明や、山田市長より令和4年度の名取市における主要施策について説明させていただきました。今後も名取市と地域のパイプ役としてご尽力いただきますようお願いいたします。



(令和4年6月10日)東京都白銀台の(株)八芳園が中心となり、名取市のジェラートショップ「ナチュリノ」と宮城農業高等学校が連携して、地場特産品を使った商品開発を行うこととなりました。今回の企画は、「八芳園」で5月23日開催の日米首脳会談後の夕食会がおこなわれた際、デザートとして「ナチュリノ」のジェラートが提供されたことが縁で実現しました。名取の魅力を全国に発信する貴重な機会となることから、山田市長へ企画内容説明のため来庁されました。名取市も積極的に連携し、地域経済の活性化に努めてまいります。



(令和4年6月11日)令和4年度特定非営利活動法人「名取市スポーツ協会」の通常総会が行われました。会の冒頭にこれまで永きにわたり名取市のスポーツ振興にご尽力いただいた5名の方に、佐々木会長より功労章が贈られました。今後も生涯スポーツの振興に向けてご協力をお願いいたします。



(令和4年6月17日)サイクルスポーツセンターにおいて、自転車安全講習会が開催され、閉上小中学校6年生が受講し、様々な実演を見学しつつ、実際に自転車を使った講習を体験しました。



(令和4年6月18日)ゆりが丘小学校において、令和4年度名取市総合防災訓練が開催され、訓練当日は、ゆりが丘・みどり台地区の住民の方々、ゆりが丘小学校の児童・先生方、防災関係機関、名取市議会・市職員など約600名の皆さんに参加いただきました。ゆりが丘地区での開催ということで、土砂災害や高所救出の実演見学や水消火器等を使った基本的な模擬消火訓練を体験しました。今後も開催場所を変えながら、名取市全体の防災意識の向上や防災関係機関と連携強化をはかってまいります。



(令和4年6月19日)名取市は、来季より悲願のBリーグ一部昇格を決めた仙台 89ers と共同でバスケットボールクリニックをサイクルスポーツセンター内、3×3 コートで開催しました。対象は、市内在住の小学生で、経験、未経験問わず、約30名が参加し、短い時間ではありましたが、楽しくバスケットボールに取り組んでいました。



(令和4年6月19日)震災の年から始まり、今回で12回目となる「ひまわりプロジェクト」の植樹祭が、かわまちてらす閣上で行われました。たくさんの場所で育てられたひまわりの苗により、全国と被災地の人と人との絆をつなぐ、素晴らしい取り組みに感謝します。



(令和4年6月27日)令和3年度より、全15小・中・義務教育学校区内に「地域学校協働本部」が設置されました。これは、地域全体の子どもの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指していくものです。本日より各地区本部と懇談会を開催し、地域の実情を把握しながら支援に努めてまいります。



(令和4年7月4日)第11回目となる今回は、(有)まるしげ様、(有)フカヌマ興業様、(株)新英商事様、(株)メディラック様の4社により応募いただき名取市と企業立地協定を締結いたしました。閑上東地区産業用地は、水産業10社と合わせて42社となりました。地域産業の活性化に大きく貢献いただけるものと期待しております。



(令和4年7月6日)この事業は、結婚や出産、介護などにより職を離れなければならなかった方が再就職をするための支援を目的におこなわれるもので、今回は、キャリアづくりと家事分担と題した講座が行われました。今後も再就職や復職に向けた講座を開催し、社会に出て活躍出来る様、支援してまいります。



(令和4年7月6日)愛島台は平成4年から開発され、景気後退の影響で平成17年3月より開発が休止しておりましたが、令和元年12月に渋谷商事(株)様と「名取市愛島台の土地活用に係る協定」を締結し、今回新たに始まる開発工事の安全祈願祭が行われました。「自然に囲まれた暮らしと産業が調和したまち」の実現に向けて令和9年の完成を目指します。



(令和4年7月9日)みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターにおいて植樹イベントが開催されました。昨年はみちのく潮風トレイル沿線の4県、28市町村より献木いただいた苗木を植樹しており、本日、センター内の庭園に地域の皆さんと苗木を植樹しました。庭園の木々の生長とともにみちのく潮風トレイルや「歩く文化」も成長させていければとの思いです。



(令和4年7月9日)協働提案事業で採択された市民団体「峠の分校」による消防団PRのワークショップが行われました。コンピュータのプログラムを活用し、また、名取北高校奉仕活動部のサポートもあり、大変わかりやすい消防団PRがなされました。団員確保が課題になっておりますが、これをきっかけに興味を持っていただき入団者が増えることを期待します。



(令和4年7月17日)名取市役所駐車場にて「第52回 名取市消防操法指導会」が三年ぶりに開催されました。会場では、市内各地区の消防団から6チームが選抜され、日頃の訓練の成果を競いました。今回、ポンプ操法競技で最優秀賞に輝いたのは、館腰分団第1部チームでした。おめでとうございます。消防団員の皆様には人命を守る活動や火災予防の啓発などに努めていただき、感謝いたします。





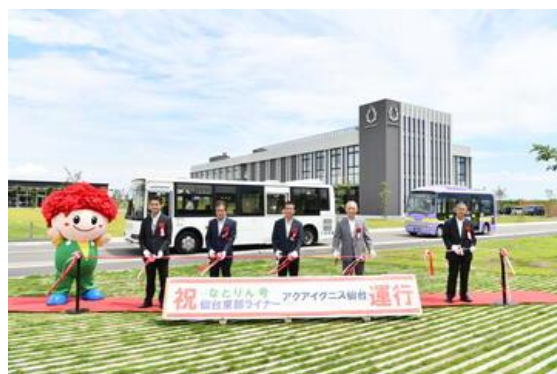
(令和4年7月20日)令和4年8月6日(土)午後2時から、なとり夏まつり実行委員会主催により、なとり夏まつりを開催します。東日本大震災の後、閑上で行われるのは12年ぶりとなり、犠牲になられた方々への鎮魂の思いと、復興にご支援いただいた方々への感謝の意を込め開催します。当日は、打上花火、慰霊祭の他、メイン会場となる閑上朝市周辺には露天の出店を行います。花火については10,000発を予定しており、慰霊花火をはじめ秋田県大曲花火通り商店街から「復興花火」を協賛いただきます。また、閑上の夜空の彩をゆつたりと観賞いただくため、サイクルスポーツセンターなどに、約8,000席の特設有料観覧席を用意します。詳細については、随時、なとり夏まつり公式サイト(<https://natori-matsuri.com>)でお知らせします。



(令和4年7月21日)名取市は、ろう者(聴覚障がい者のうち、手話を使用して日常生活や社会生活を営む人)が手話を使用して暮らしやすい地域社会を実現するために、手話言語条例を制定しています。夏休みに合わせて、小学生・中学生を対象とした手話の初級講座を3回開講します。手話が一層広まっていく契機になるような試みを、今後も検討してまいります。



(令和4年7月23日)アクアイグニス仙台におきまして、なとりん号「閑上線」アクアイグニス仙台経由運行開始並びに「仙台東部ライナー」運航開始の記念式典を開催しました。名取市の乗合バスをアクアイグニス仙台まで延伸し、併せて運賃の「電子決済」を初導入しました。これにより、観光される方々が、気軽に沿岸部の観光拠点を周遊していただき、仙台・名取両市の沿岸部観光がますます盛んになりますことを期待しております。



(令和4年7月25日)名取市文化会館を会場に、小学校5、6年生を対象とした外国語体験プログラムが行われました。内容は、ALTや教員が運営する3つのワークショップにおいて、子どもたちが英語を使った体験活動を行いました。国際空港がある町として、今後も英語にふれあう機会を設けてまいります。



(令和4年7月28-29日)東日本大震災により中断していた、姉妹都市上山市との第39回「海の子山の子」交歓会が12ぶりに開催されました。名取川において新水上スポーツ「SUP」の体験をし、その水しぶきに子どもたちからは大歓声がおきました。また、名取市の名産であるささかまの手焼き体験も堪能し、熱々の笹かまをほうばりながら親交を深めていました。閑上のサイクルスポーツセンターに宿泊した子どもたちは閑上温泉も楽しみ、たくさんの思い出と絆を結びました。来年1月には、さらに絆を深めるべく、上山市を会場に交流事業を予定しております。



(令和4年8月2日)名取市と公益財団法人宮城県宅地建物取引業協会様、全日本不動産協会宮城県本部様と名取市空き家物件登録制度「空き家バンク」媒介に関する協定を結びました。これにより、本市の空き家の有効活用がより促進され、移住・定住の促進による持続可能なまちづくりと、市民の皆様が安心して生活を送れる環境づくりにつながるものと期待します。



(令和4年8月3日)昭和57年から多くの皆様にご利用いただいていた名取市民球場の40周年を記念して、元メジャーリーガーで東北楽天ゴールデンイーグルスでもエースとして活躍された岩隈久志さんの野球教室が名取市民球場で開催されました。市内各中学校の野球部員に技術の向上と野球の楽しさを伝えていただきました。



(令和4年8月3日)名取市と株式会社仙台 89ERS 様とで包括連携の協定を締結しました。バスケットボールを通じた本物のプロスポーツに触れる機会を市民に提供し、スポーツの素晴らしさがより身近に感じてもらえる取組みを行ってまいります。また、本市に絵本 89 冊と名取市社会福祉協議会に足こぎ車いす「COGY」の寄贈もいただきました。絵本については保育所等で読み聞かせなどに活用させていただきます。



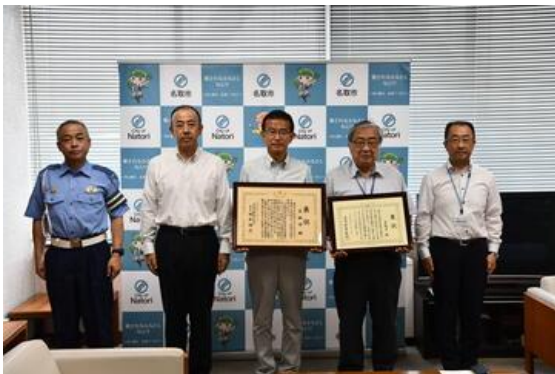
(令和4年8月5日)閑上公民館において、コロナウイルス感染症対策により2年延期されていた地域安全学会「東日本大震災連続ワークショップ 2022in 名取」が開催されました。地域安全学会は長年地域社会の安全問題の調査研究に取り組み、地域安全性の向上に貢献されております。本市においても復旧復興に多大なる貢献をいただいております。



(令和4年8月6日)「第37回なとり夏まつり」が東日本大震災後、12年ぶりに閑上の地で開催されました。東日本大震災で犠牲となられた方々への慰霊を込めて白い花火「白菊」が打ち上げられ、会場の皆さんとともに祈りをささげました。また、市内外から多くの方々にお越しいただき、閑上の大空を、色とりどりの花火が大輪の花を咲かせ、万感の思いに浸りました。今回の夏まつりは、鎮魂・感謝・未来への希望となり新たなまつりの幕開けとなりました。



(令和4年8月9日)令和3年8月2日以降死亡事故ゼロ一年間を達成したとして、宮城県知事及び宮城県警察本部長より「褒状」が授与されました。主要幹線道路等での交通量が増加する中、「交通死亡事故ゼロ1年間」を達成できたのは市民の皆様一人ひとりの安全意識及び交通安全関係団体のご尽力によるものです。今後も引き続き市民一丸となって交通安全都市を目指しましょう。



(令和4年8月10日)宮城県で初めて建設テックの株式会社クラッソーネ様と名取市とで、空き家除却促進に係る連携協定を締結しました。全国的にも社会課題となっている空き家問題への対策として連携し、解体費用シミュレーターの提供やフライヤーの配布などを通し、空き家の適正管理の促進につなげ、安心・安全なまちづくりを目指してまいります。



(令和4年8月18日)宮城県南の4市9町で構成する「第32回 宮城県南サミット」が山元町「ふるさとおもだか館」を会場に開催されました。宮城県知事の村井嘉浩知事にも出席していただき県南地域の要望を伝えました。今回山田市長は役員改選で副会長に選任されました。



(令和4年8月21日)包括連携協定を締結している「仙台 89ERS」の公開練習が名取市民体育館で開催されました。本物のプロスポーツの練習は迫力があり観客を魅了しました。仙台 89ERS は、6 シーズンぶりにB1リーグへ復帰を果たしました。皆さんで応援しましょう。



(令和4年8月24日)株式会社仙台ニコン様と包括連携協定を締結しました。今回の締結により、地域力の向上や環境保全、防災・災害対策等、市民の皆様が安心安全により快適に暮らしていけるよう取り組んでまいります。



(令和4年8月25日)8月は「道路ふれあい月間」となっております。それに伴い市内の建設業の皆さままで構成されている名取建友クラブ、名取市災害応急措置協力会の皆さまと市の建設部職員との合同で市内各所において、道路の清掃活動を行いました。また、開催に先立ち出発式を行い、道路の役割や重要性などを再確認しました。





(令和4年8月25日)一般社団法人宮城県消防設備協会様より、「住宅用火災警報器」(600個)が贈呈されました。市内の設置状況は、県平均設置率を上回っていますが、高齢者世帯では低い水準にあります。今回のご支援により、災害弱者である高齢者や障害者の方々が安全な暮らしをしていただけるよう活用してまいります。



(令和4年8月30日)道路整備事業により移設し、新たに改築された本郷小規模保育所の開所式が行われました。この保育所は、地域の保育事業だけではなく、子育て支援センターとしてもたくさんの地域の方々が集まり活動できる施設として期待されています。



(令和4年9月4日)東日本大震災により全壊し、令和2年10月に再建オープン以来多くの方々にご来場いただきましたが、本日、来場者が30万人に到達し、記念品の贈呈を行いました。今後もサイクリングを通し、多くの方々にご来場いただき、愛されるスポーツ施設になるよう運営してまいります。



(令和4年9月4日)名取駅東地区のにぎわい再生に向けた懇談会が増田公民館を会場に行われました。当日は、名取北高等学校、仙台高等専門学校、尚絅学院大学の生徒さん方と、若い柔軟な発想のもと、名取駅東地区の増加している空き地や空き店舗の活用について議論しました。



(令和4年9月7日)8月に就任された小島敏文復興副大臣が来庁され、閑上地区の視察を行いました。震災メモリアル公園で黙とうの後、工業団地や、かわまちてらす閑上、商業施設を視察されました。



(令和4年9月17、18日)サミットは新潟県南魚沼市を会場に行われ、これまでの自転車を活用した事業の紹介や特設コースを実際に自転車でサイクリングし、体験もしました。当市におけるサイクルスポーツセンター運営と地域の活性化におおいに活用してまいります。



(令和4年9月21日)出発式では、山田市長と岩沼警察署長から交通安全母の会会長へ交通安全を呼びかけるメッセージの伝達式も行われました。交通安全運動の実施期間は、9月21日から30日までの10日間です。



(令和4年9月22日)8月に就任された小島敏文復興副大臣が当市を訪問され、閑上地区の視察を行いました。震災メモリアル公園で献花の後、かわまちてらす閑上や沿岸地域の商業施設を視察されました。



(令和4年9月27日)今月21日から「秋の交通安全運動」が始まりました。自転車安全運転の啓発のため、名取駅西口において街頭指導行いました。



(令和4年10月1日)名取市文化会館にて「令和4年度名取市市制施行記念式典」が開催されました。今年の表彰者数は、功労者表彰が22名と2団体と元気高齢者表彰が19名、スポーツ賞顕彰は68名と8団体の方々が受賞されました。本当におめでとうございます。





(令和4年10月4日)本年7月に募集しました「名取市減塩お弁当コンテスト」へ33作品の応募があり、1次審査でスマートミール基準を満たす、またはそれに近い7作品の最終審査を閉上公民館で行いました。どの作品も健康を考え、それでいて美味しい作品で審査員による試食を行い、入賞作品が決定しました。今月29日開催の「元気なとり」減塩フォーラムで入賞作品を発表、表彰を行います。



(令和4年10月6日)本会は、増田川・川内沢川流域の改修整備、治水向上を目的としております。今回の研修は、座学研修でダム役割やダムを活用した振興を学び、視察研修では、現在施工中の川内沢ダムを視察しました。今後も改修整備を行うことで、総合的な治水対策が完了するものと期待しております。





(令和4年10月7日)東日本大震災直後から被災者の慰霊、供養のため、被災地を訪問されていた原井日鳳様の慰霊碑を建てたいとのお考えから、彫刻家の八木鱗太郎様制作の彫刻を寄贈いただきました。東日本大震災からの教訓を風化させるとの無いように後世に伝えてまいります。



(令和4年10月9日)特設ステージでは、関上太鼓保存会をはじめ、これまで復興支援をいただいた県内外の団体の演奏・演技などが行われました。また、ステージのほか、会場内で震災前の関上の映像紹介や語り部による現在の関上周遊ツアーが行われ、これまでの関上を知る一日となりました。





(令和4年10月10日)当日は、あいにくの雨天となり市民体育館での開催のみとなりました。参加された方々は、ニュースポーツやエクササイズなどを体験し、楽しく汗を流していました。



(令和4年10月15日)10月の「全国シルバー普及啓発強化月間」の一環として、公益社団法人名取市シルバー人材センターにおいて第三土曜日を「しるばーの日」とし、ボランティア活動を実施しました。当日は、市役所周辺の除草・清掃奉仕作業を行いました。



(令和4年10月15日)イオンモール様をはじめ、JA名取岩沼様と連携し、市内農業者の支援策として「おいしい名取産米」の試食・特別販売を行いました。また、イオンモールけやきコートを会場に「元気なとり減塩フェア」も開催しました。



(令和4年10月16日)市民活動支援センターにおいて、「第8回名取市市民活動フォーラム」が開催され、「好きな名取と生きていく～NPO 活動の可能性～」をメインテーマに基調講演やパネルディスカッションが行われました。地域づくりや市民活動の場として市民活動支援センターをおおいに活用していただければと思います。



(令和4年10月16日)ベガルタ仙台様とは、インクルーシブサッカー教室やサッカースクールなどで協力関係を作ってまいりましたが、今回の包括連携協定の締結により相互の連携・協働関係を強固にし、本市の発展に取り組んでまいります。





(令和4年10月21日)ヨルダン大使が名取市を来訪され、閑上地区のかわまちてらす閑上や閑上傳承館、みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターなどを視察されました。



(令和4年10月22日)パナソニック株式会社仙台工場内にあるエイジェックグループ能力開発センター仙台校において「2022 ロボットアイデア甲子園 東北大会」が開催され、東北地区内の優れたアイデアと判断された22校23名の高校生・高専生・専門学校生が参加しました。未来に向けた独創的な発想や社会での必要性のある様々なアイデアが発表されました。





(令和4年10月29日)今回は、「人生100年時代に向けた国の動きと減塩の関係 ～市民1人1人ができること～」と題して研修会を開催しました。また「名取市減塩お弁当コンテスト」の表彰式も行い、入賞した5作品の受賞者へ、表彰状と記念品を贈呈しました。



グランプリ(2点)

作品名:『嬉今日弁当』
板垣 まい、前田 鈴花、村上 愛
(宮城県農業大学校)

「ネーミングも良く、量数も多いわくわくするお弁当」、「完成度が高い」などコンセプトでは満点。美味しさ、普及性でも高得点でした!

エネルギー 646kcal / 食塩相当量 2.7g
たんぱく質 20.1g / 脂質 21.4g / 炭水化物 91.0g
野菜の量 148.5g

作品名:『いろいろ中華弁当』
高橋 心羽、橋浦 公歩
(名取北高等学校)

「味もとても良く、副菜のクオリティも高く感じた」、「ボリュームがあり購入しやすくなる」、「名取産の食材の豊富さと彩り、食感も良くまた食べたいたいと思う」など美味しさ、地域性でも高得点でした!

エネルギー 617kcal / 食塩相当量 2.9g
たんぱく質 27.9g / 脂質 14.8g / 炭水化物 87.4g
野菜の量 308g

準グランプリ(1点)

作品名:『名取市満腹弁当』
遠藤 志雄、高橋 瑞那、聖 和
(宮城県農業大学校)

「チンゲン菜のしゃもじは個性的で目を引く」、「鶏の内弁当な発想がよいと思う」など地域性、発案力で高得点でした!

エネルギー 639kcal / 食塩相当量 1.9g
たんぱく質 19.3g / 脂質 19.1g / 炭水化物 96.4g
野菜の量 200.6g

特別賞(2点)

作品名:『～たまにはお魚弁当～』
工藤 悠
(宮城県農業高等学校)

エネルギー 697kcal / 食塩相当量 2.7g
たんぱく質 28.9g / 脂質 23.6g
炭水化物 78.8g / 野菜の量 163g

作品名:『減塩おちゃのこ彰・菜弁当』
阿部 白梨、伊藤 彩帆、遠藤 梨子
(船橋学院大学)

エネルギー 630kcal / 食塩相当量 2.6g
たんぱく質 24.0g / 脂質 15.4g
炭水化物 88.8g / 野菜の量 154g

(令和4年10月30日)今回は4年ぶりの開催となり、参加者200名が名取市サイクルスポーツセンターを一周してから仙南2市2町をとおる、丸森町を目指しスタートしました。100Kmライドを通じてサイクリングの楽しさを体感していただき、施設の有効利用に努めてまいります。



(令和4年11月3日)名取市民体育館を会場として3年ぶりに「2022 ふるさと名取秋まつり」を開催しました。会場では、市内外より18,000人の来場者があり、市内生産の農産物や物産品などの販売会や秋を彩る様々なイベントを行い、大盛況となりました。



(令和4年11月4日)仙台空港において「JALふるさと納税返礼品」についての記者会見を行いました。これまでふるさと納税返礼品でご協力いただいている企業の方にもご同席いただき、新たに参加する日本航空株式会社様の取り組みとこれまでにない返礼品(オリジナル周遊チャーターフライトや仙台空港バックヤード見学など)のご紹介を行いました。名取市の魅力発信につなげてまいります。



(令和4年11月5日)当日は、沿岸地区にお住まいの方々が約60名参加し、大津波警報が発表されたという想定で仙台東部道路の避難階段を使い避難スペースに避難しました。避難階段は、東日本大震災の時には無かったもので、震災後、仙台東部道路に13か所設置されました。避難訓練等を定期的 to 実施し、命を守る行動に役立てて行きます。



(令和4年11月8日)宮城中央ヤクルト販売株式会社様よりヤクルト400LTを900本、無償提供いただきました。「子育て世代」サポートプランとして子育て中のお母さんたちの腸内環境を整え、体調管理の一助になればとのご提案です。今後、3か月児童健康診査時(1回約30人に月2回)に配布させていただきます。



(令和4年11月8日)名取岩沼農業協同組合様より母子健康手帳ケース(650個)を寄贈いただきました。地域住民への子育て支援活動の一環で、子どもの誕生を祝い、安心して子育てができる環境支援を目的に寄贈されたものです。今後、母子健康手帳交付時に妊婦の方々へ配布させていただきます。



(令和4年11月11日)山形県大石田町より村岡町長が名取市を来訪され、閑上地区を視察されました。かわまちてらす閑上において、東日本大震災からの復旧・復興まちづくりなどについて説明し、意見交換を行いました。



(令和4年11月12日)名取市歴史民俗資料館において、第3回資料館まつりを開催しました。当日は、約280名の来場者があり、ステージで踊りなどの披露や演奏、体験学習室で勾玉づくりなどの体験イベントを行いました。これからも魅力ある施設運営に取り組んでまいります。



(令和4年11月13日)増田公民館において、「Mix 名取フェスタ ～健康タウンプロジェクト～」を開催しました。会場では、名取市と包括連携協定を締結しております8団体が「健康」をテーマに工夫を凝らした展示やステージ発表を行いました。約220名の来場者があり、アンケート調査では「また参加したい」との意見が多くみられ、参加団体からも「このような連携機会を提供して欲しい」との声が聞かれました。今後も連携強化をはかり、地域の活性化に努めてまいります。



(令和4年11月14日)東北電力ネットワーク株式会社岩沼電力センター様、株式会社ユアテック仙台営業所様よりLED街路灯を15灯、寄贈いただきました。これまで119灯寄贈いただき、無償で取り付け工事を行っていただきました。今回寄贈いただいたLED街路灯は、設置要望のある地区に設置し、夜間の安心安全に活用してまいります。



(令和4年11月15日)ふたば幼稚園の園児の皆さんが、「勤労感謝の日」にちなんで名取市役所を来庁され、手作りカレンダーと花束をプレゼントしていただきました。いただいた手作りカレンダーは、市長室に飾らせていただきました。



(令和4年11月15日)みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターにおいて「自然歩道関係功労者」の表彰式が行われ、特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ様が受賞されました。これまでみちのく潮風トレイル全線の管理運営を行い、沿線の情報発信や普及啓発などが評価されての受賞となりました。これからも連携を進めて、名取市の魅力発信に努めてまいります。



(令和4年11月24日)愛島西部工業団に工場のある株式会社畑惣商店様より「坊ちゃん石鹼」を480個、寄贈いただきました。「市内小中学校のインフルエンザ対策」として毎年寄贈いただいております。市内小中学校へ配布し、インフルエンザ及び、新型コロナ対策として活用いたします。



(令和4年11月24日)三協フロンティア株式会社様と「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結しました。この協定により大災害時、市が必要とするレンタル機材を有償で優先的に提供して頂くための要請ができ、速やかな復旧・復興に向けた取り組みの一助として活用いたします。



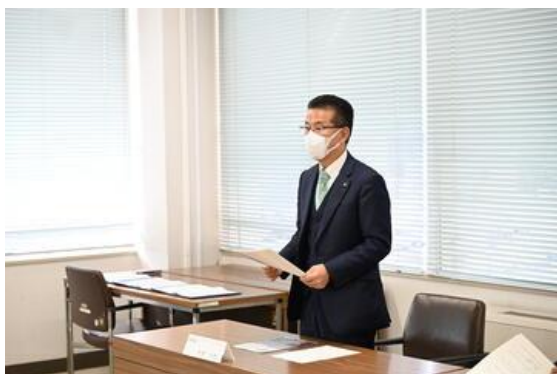
(令和 4 年 11 月 25 日)明治安田生命保険相互会社様より、「私の地元応援募金」から金 520,000 円の寄附をいただきました。「元気なとり」の発展に使わせていただきます。



(令和 4 年 11 月 25 日)あいおいニッセイ同和損害保険株式会社仙台支店プロ会様より「うんこ交通安全ドリル」を 1890 セット(歩行者編・自転車編)寄贈いただきました。市内小学校へ配布し、交通ルールを楽しく学びながら子どもたちの安全につながるよう活用してまいります。



(令和4年11月25日)これまで公募(第11回)により、閑上東地区産業用地において、水産業9社と合わせて41社を誘致してまいりました。今回、株式会社 First Style 様、TCIC JAPAN 様、AG・マシナリー株式会社様の3社と立地協定を締結し、地域産業の活性化に大きく貢献いただけるものと期待しております。



(令和4年11月26日)「心の復興 コミュニティ支援事業 in 名取市」が閑上公民館・体育館を会場に開催されました。東北復興支援運動の一環として「歩こう健康づくり・心にエール」をテーマに、歩くことやスポーツなどを通して心身の健康づくりと地域コミュニティづくりに貢献いただいております。当日は、応援隊として元ヤクルトスワローズ 矢野和哉氏も参加されました。



(令和4年11月26日)株式会社陣中様による「名取閑上工場」新築工事の地鎮祭が行われました。株式会社陣中様は、閑上東産業用地 第3回公募の進出事業者で、この度、新工場建設が始まりました。



(令和4年12月8日)平成30年12月に新図書館を開館し、本日来館者数100万人を達成しました。100万人目の来館者に対して記念セレモニーを開催し、記念品を贈呈しました。これからも「図書館まつり」などを開催し、利用しやすく、親しまれる図書館を目指してまいります。



(令和4年12月8日)名取市文化会館において、「地域支え合い報告会」が開催されました。当日は、講師として東北こども福祉専門学院 副学院長 大坂 純 氏をお迎えし、「支え合いの重要性～近所付き合いはたからもの～」をテーマに講演をいただきました。また、地域の活動発表も行われ、活発な意見交換が行われました。



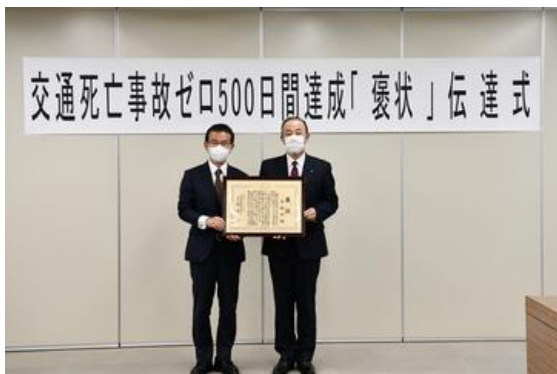
(令和4年12月9日)これから年末年始期間をひかえ、金融機関やコンビニエンスストアなどへの強盗や高齢者を狙った振り込め詐欺、飲酒運転などによる交通事故、少年少女非行行動などの発生が懸念されます。これらの事件事故を未然に防ぐため、12月15日から1月7日までの期間、地域安全運動が実施されます。市民一丸となって取り組んでいきましょう。



(令和4年12月17日)名取市文化会館において、多文化共生事業「多文化トークタイム～Christmas Season～」を開催しました。本事業は、名取市内在住の外国人市民などの海外出身者と日本出身の市民との交流の場を提供し、自発的な交流を支援するものです。当日は、料理人タレントの「タアちゃん」によるタイ文化講演会や「クリスマス」をテーマとした参加者同士による交流会が行われ、なかなか触れることのない他国の文化を楽しく共有できました。



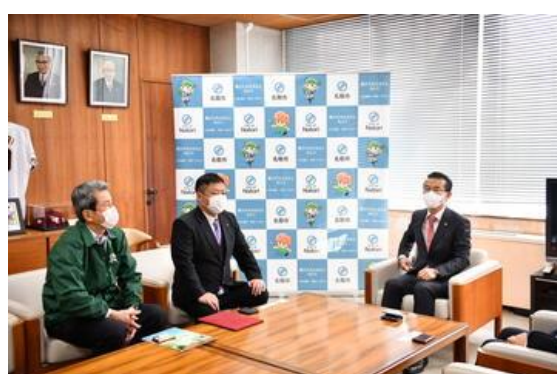
(令和4年12月20日)名取市内において交通死亡事故が令和3年8月2日以降、発生しておらず、「交通死亡事故ゼロ500日」を達成したとして、宮城県警察本部より「褒状」が授与されました。交通量が増える中、「交通死亡事故ゼロ500日」を達成できたのは、市民1人ひとりの安全意識の向上及び、交通安全関係団体による交通安全活動によるものです。これからも記録更新ができるよう交通安全活動に努めてまいります。



(令和4年12月26日)新型コロナウイルスの影響で運休していた国際線が再開し、2年9か月ぶりに仙台空港へタイからのチャーター便が到着しました。当日は、名取市山田市長をはじめ、宮城県、仙台市、岩沼市の関係者や伊達武将隊、ゆるキャラ達が乗客240名をお出迎えし、東北各地を巡るツアーがスタートしました。今後、さらなる国際線再開により、海外からの観光客増が期待されます。



(令和4年12月26日)株式会社藤田興業様より企業版ふるさと納税として金100万円の寄附を頂きました。株式会社藤田興業様からは、名取市を支える人材の育成に使ってほしいとの希望があり、本市で実施している夢サポート事業などに使わせて頂きます。



(令和5年1月5日)名取市文化会館において、名取市商工会、名取岩沼農業協同組合、名取市漁港共同組合閑上支所、名取市役所の4社が主催する「名取市新春祝賀会」が開催されました。名取市の著名な方や会社関係、県・市議会議員の方々など、多くの方が参加しました。



(令和5年1月6日)西村環境大臣が大臣就任後初めて、閑上地区(かわまちてらす閑上、名取市震災復興伝承館、名取トレイルセンターなど)を視察されました。環境省所管の名取トレイルセンターでは、トレイルを活用し、名取市を世界に発信出来るよう、意見交換が行われました。





(令和5年1月8日)名取市民体育館駐車場において、新春恒例の名取市消防出初式が行われました。当日は、消防団員及び婦人防火クラブ、消防職員が337名参加し、3年ぶりに消防団員や婦人防火クラブ、幼年消防クラブによる観閲行進や消防団による実施放水など実施しました。

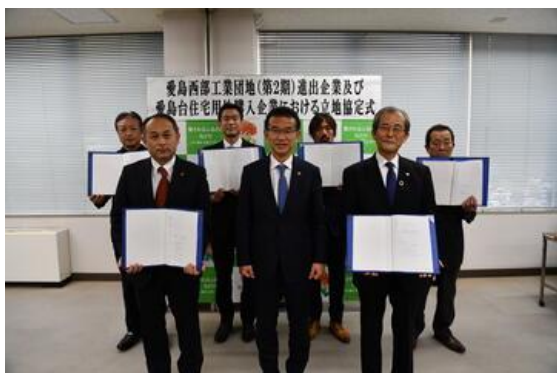


(令和5年1月8日)名取市文化会館において「令和5年 二十歳を祝う会」が開催され、当日は、市内外から589名が参加しました。山田市長より「未来ある若者」へエールを贈りました。





(令和5年1月17日)名取市愛島西部工業団地(2期)及び、名取市愛島台住宅用地において、株式会社東昇様、株式会社KJコミュニケーション様、株式会社橋本建機様、株式会社タカカツホールディングス様、丸大食品株式会社様及び、株式会社ミートサプライズ様、みらいや創建株式会社様の6社が、新たに該当用地を購入することとなり、立地協定を結びました。地域産業の活性化に大きく貢献いただけるものと期待しております。



(令和5年1月18日)仙台空港においてエバー航空様の仙台-台北線定期便運航再開にあたり、記念セレモニーが行われました。今回の定期便運航再開は、2020年2月以降、コロナ感染拡大にともなう運航休止後、定期便再開第1号となりました。今後、さらなる国際線再開により、海外からの観光客増が期待されます。





(令和5年1月19日)「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター」を会場に県内13の市町が参加し、「トレイルの活用に向けた県内市町村長会議」が開催されました。会議では、トレイルのさらなる活用促進に向けた取り組みやみちのく潮風トレイル関係市町村協議会の設立などについて話し合われました。



(令和5年1月22日)名取市サイクルスポーツセンターを会場に第37回宮城県女子駅伝競走大会が1月28日(土)に開催されます。開催にあたり本日、市民体育館において開会式が行われました。冬の風物詩となっている「駅伝」で宮城県は全国的にも上位に位置しております。山田市長より参加チームの活躍に向け、エールを送りました。



(令和 5 年 1 月 26 日)一般社団法人貞山運河ネット様主催による「貞山運河歴史セミナー」が仙台市福祉プラザにおいて開催されました。当日は約 160 名の参加者があり、郷土史家の菅野正道氏、東北学院大学経営史教授の斎藤善之氏をパネリストに迎え、貞山運河の歴史を学びました。貞山運河をたくさんの方々を知ってもらい、名取市沿岸地区の活性化に活用してまいります。



(令和 5 年 2 月 8 日)フレスコキクチ名取増田店様より 200,000 円の寄付を頂きました。名取市の生活環境づくりに使ってほしいとの希望もあり、リサイクル関係事業などに使わせて頂きます。



(令和 5 年 2 月 8 日)第 53 回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会(令和 5 年 1 月開催)において仙台高等専門学校ラグビー部様が 6 年ぶりに優勝し、名取市を表敬訪問されました。山田市長同校ラグビー部の優勝に対し、お祝いの言葉が送られました。今後とも文武両道での活躍をお祈りいたします。



(令和5年2月8日)宮城南部流域森林・林業活性化センター仙台支部様より、木製ベンチ2基を寄贈いただきました。今回いただいたベンチは県内産木材を使用しており、市民体育館に設置予定です。大切に使用させていただきます。



(令和5年2月13日)仙台高等専門学校様より、「カーナくん」の亚克力スタンドを5台(大-2台、小-3台)寄贈いただきました。これは、包括連携協定を締結する仙台高等専門学校様と名取市のコラボレーションにより企画・制作に至ったもので、協働事業の情報発信(Twitter「なとりde協働のまちづくり」)に登場し、事業を盛り上げる役割を担うほか、本市の広報活動等の様々な場面で活躍する予定です。



(令和5年2月14日)参議院東日本大震災復興特別委員会の方々、関上地区の視察を行いました。震災メモリアル公園で献花の後、日和山やかわまちてらす関上、北釜防災公園を視察され、関上中央集会所では、意見交換会(復興の現状と要望の説明など)を行いました。

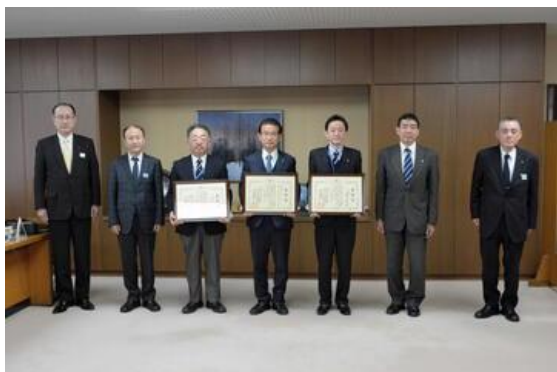




(令和 5 年 2 月 16 日)愛島西部工業団地で操業開始 10 年を迎えた企業 3 社に地域定着企業表彰の楯を贈呈しました。贈呈されたのは、株式会社ウチダ様、篠崎コンクリート株式会社様、株式会社中央製作所様です。今後も産業振興にご貢献をお願いします。



(令和 5 年 2 月 22 日)宮城県警察本部において東北ブロック暴力追放運動推進センター連絡協議会より令和 4 年度東北ブロック暴力追放功労団体表彰を受けました。今回は、名取・岩沼地区暴力団追放対策協議会の会長である山田市長が受領しました。これからも同地区内の暴力団追放活動に努めてまいります。



(令和 5 年 3 月 3 日)名取市役所において「各自自治体の地域課題を踏まえた DX の取組と広域的情報流通を目指したデータ連携基盤の取組について」をテーマに、トークセッションを行いました。今回は、山田市長、岩沼市長、事業構想大学院大学准教授 重藤さわ子氏、NTT 東日本執行役員 滝澤正宏氏の 4 者により、自治体における DX の取組について意見交換を行いました。



(令和 5 年 3 月 9 日)名取市内の中学校で一斉に卒業式が行われました。今回、山田市長は、名取市立増田中学校の卒業式に来賓として出席しました。今年は、255 名の卒業生が、思い出が詰まった学び舎に別れを告げました。



(令和 5 年 3 月 11 日)震災から12年。閉上の震災メモリアル公園及び、名取市役所市民ホールにおいて「東日本大震災名取市追悼献花」が行われ、多くの方々より献花をいただきました。閉上の慰霊碑にて午後 2 時 46 分の黙祷の後、山田市長、西村環境大臣、宮城県知事、市議会議員より献花をし、追悼の言葉を述べられました。



(令和 5 年 3 月 19 日)名取市役所において「自転車を活用したまちづくり」をテーマに山田市長と市民約 40 名による、まちづくりディスカッションを開催しました。参加者によりワークショップを行い、様々な意見や提案をいただきました。今回の内容を参考に令和 5 年度「名取市自転車活用推進計画」に活用してまいります。





(令和 5 年 3 月 19 日)名取市愛島笠島地区内において、西村環境大臣をはじめ、県知事及び県会議員、山田市長、名取市議会議員、地元町内会の方々に出席を頂き、川内沢ダム起工式が行われ、ダム完成に向けた作業の安全祈願を行いました。総合的な治水対策に寄与するものと期待しております。



(令和 5 年 3 月 21 日)文化会館において「2022 なとりこどもファンド活動発表会」を開催しました。この「なとりこどもファンド」は、市内在住または市内に通学している、18 才以下の子ども 3 人以上のグループが、昨年 7 月から 1 月まで行うまちづくり活動に対して、最大で 10 万円の助成を行うものです。コロナ禍で活動に制限がある中、10 団体が地域の清掃・防災・魅力を発信するなど、子ども達の夢や豊かなアイデアや成果が発表されました。



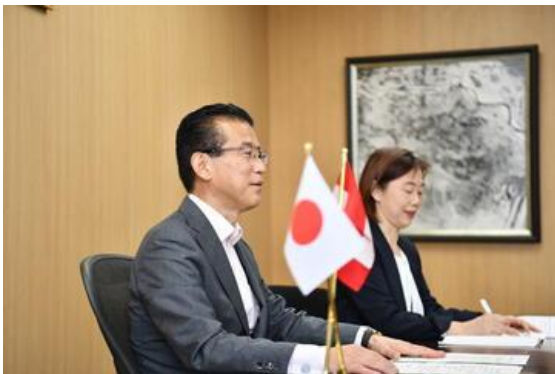


(令和 5 年 3 月 22 日)宮城労働局(仙台公共職業安定所)様と雇用対策協定を結びました。今回の協定締結により、地域雇用対策を連携して行い、安定した就労確保、市内企業への就職促進を目指します。



(令和 5 年 3 月 24 日)ブラジル・グアララベス市のアレックス市長とカナダ・スーク市のテイト市長と個別にオンラインミーティングを行いました。改めて震災後の支援御礼をお伝えし、今回のオンラインミーティングからコロナ感染症により途絶えていた交流再開を確認しました。また、今年度から「中学生海外派遣」事業も再開し、今月 29 日にカナダに向けて出発することもお伝えしました。





(令和 5 年 3 月 25 日)日本航空様と名取市が共同開発した「JAL ふるさと納税」返礼品企画を実施しました。今回は、18 名の方々が「仙台空港見学&お仕事現場体験」として、JAL スカイ仙台事務所・荷捌き場、航空機到着作業の見学や空港内バスによる空港内敷地の見学を行いました。



(令和 5 年 3 月 27 日)株式会社東北電子計算センター様より寄付金 10 万円をいただきました。今回は、仙台銀行様の「仙台銀行じもと応援私募債」を活用したもので、こどもファンド事業に活用してまいります。



(令和 5 年 3 月 27 日)公益社団法人 名取市シルバー人材センター様よりアルコール消毒液(60 本)、マスク(200 枚)、ぞうきん(200 枚)を寄贈していただきました。コロナ感染症対策として市内保育所及び児童センターで使用させていただきます。



(令和 5 年 3 月 29 日)名取市サイクルスポーツセンターにおいて三恵商事株式会社様よりおもしろ自転車(3 台)を寄贈していただきました。名取市サイクルスポーツセンターは、震災後 2020 年 10 月にオープンし、復興のシンボルの施設のひとつです。自転車を活用した事業にも取り組み、地域の活性化に努めてまいります。



(令和5年3月29日)新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和元年より中止となっていた「中学生海外派遣事業」4年ぶりに再会しました。本日、「中学生海外派遣団」26名(中学生22名、随行者4名)がカナダに向けて出発し、来月8日(11日間)に帰国します。派遣団リーダーから「日本の文化などをカナダに紹介したい」とあいさつしました。



(令和5年3月30日)宮城中央ヤクルト販売株式会社様と包括連携協定を締結しました。今回の包括連携協定の締結によりヤクルト製品を通し、市民の健康サポートに関する取り組みを推進してまいります。

